

保護者のみなさまへ

今年度の1学期は、新型コロナウイルス感染症の新規感染者が増加し、緊急事態宣言も発令される状況にありましたが、府内の学校におきましては、一部の教育活動を制限しながらも、無事に終えることができました。学校内でも感染防止対策を徹底してまいりましたが、お子さまの健康管理や感染予防など、この間の各ご家庭におけるご協力に改めてお礼を申し上げます。

<京都府の状況>

さて、ご承知のとおり、8月に入り、全国的に新型コロナウイルス感染症の感染拡大が著しく、京都府内においても、新規感染者数の7日間平均が400名を超えるなど、急速に感染が拡大してきております。また、児童生徒への感染も急増しており、府立学校での感染者数は、7月が25名であったのに対し、8月は8月26日時点で既に200名を超える状況にあります。感染の急拡大は、お盆期間の帰省などに伴い人の流れが増加したことに加え、感染力の強いデルタ株への置き換わりが進んでいることによるものと考えられますが、いわゆるクラスターと呼ばれる集団感染を含む部活動内での感染の増加や、家族内等での接触者の陽性比率が高まるなど、明らかにこれまでとは異なる厳しい状況となっております。

こうした状況を踏まえ、8月19日には一部の府立高校の始業日を8月30日まで遅らせるとともに、部活動の原則停止を含め、すべての教育活動を停止するなど、感染防止対策を強化したところです。

<2学期について>

今後につきましては、感染状況を注意深く見守る必要がありますが、この間の教育活動の停止などにより、部活動等に伴う感染の抑制が考えられること、また、長期にわたる学校の臨時休業がお子さまの学びや心身に与える影響を考慮し、8月30日以降、授業を開始することといたします。

なお、現在の感染状況を踏まえ、当面、部活動の制限を継続するとともに、文化祭や体育祭などの学校行事の実施を延期するなど、感染防止に最大限留意した上で、授業を中心とした教育活動を行いたいと考えておりますので、ご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。

また、今後、学校で感染者が発生した場合には、校内で感染が拡大しないよう速やかな対応を行うとともに、状況によっては、学級単位や学年単位、また学校単位での臨時休業などの対応も学校と協議しながら行いたいと考えております。臨時休業や濃厚接触者になるなど、登校できなくなったお子さまに対しましては、授業の様子を動画で配信するなどオンラインの活用も含め、一人一人の学習保障にしっかりと取り組んでまいります。

<最後に>

各ご家庭におかれましても、感染力の強いデルタ株の割合が高まるなど、これまでとは異なる新型コロナウイルス感染症の現状を踏まえ、お子さまやご家庭内に体調不良の方がおられる時には、登校を見合わせていただくようお願いいたします。また、不要不急の外出や登下校時の飲食など、学校外での感染リスクの高い行動をとらないよう、ご家庭でもご指導いただくなど、引き続き感染防止の取組にご協力いただきますようお願いいたします。

一日も早くこの事態が収束を迎え、子どもたちの元気な声が響き渡る平穏な学校生活が戻ることを切に願っております。学校は、学習機会と学力を保障するだけでなく、お子さまの心身の発達や成長にとってきわめて重要な役割を担っていると同時に、居場所としての役割も担っています。そうした役割を果たすため、可能な限り学校を閉じることなく教育活動を継続していきたいと考えております。今後、感染状況が好転すれば、授業以外の教育活動も順次再開をしていきたいと考えておりますので、各ご家庭におかれましては、引き続き、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

令和3年8月26日 京都府教育委員会 教育長 橋本幸三